



ならけんりつみんぞくはくぶつかん やまとみんぞくこうえん
 奈良県立民俗博物館・大和民俗公園
 こみんか
 古民家たんけんブック

_____年____月____日()



がっこうめい
 学校名 _____

ねん くみ ばん
 _____年 _____組 _____番

なまえ
 名前 _____



こみんか きゅううすいけ
 古民家クイズ① 旧臼井家 ※詳しい解説は「古民家みどころガイド」を見てね!

いりぐち さ まる なん なまえ
 入口にぶら下がっている丸いものは何という名前でしょう?

- (A) さくらだま (B) すぎだま (C) まつだま



こたえ

なん しまくぶつ は
 何の植物の葉っぱでできているかな?
 みどりいろ
 もともとは緑色だったんだよ。



こみんか きゅうかぬまけ
 古民家クイズ② 旧鹿沼家

やね いちばんうえ ちい やね なん
 屋根の一番上についている小さな屋根は何でしょう?

- (A) けむり そと だ えんとつ (B) とり いえ (C) ひかり いれる まど



こたえ

なか
 中はどこにつながっているかな?
 たてもの そと なか りょうほう み
 建物の外と中の両方から見てみよう!

こみんか ひと す いえ
古民家クイズ③ どんな人が住んでいた家？

うすいけ かぬまけ なにや
臼井家・鹿沼家はそれぞれ何屋さんだったでしょう？

(1) 臼井家… (A) 豆腐屋さん (B) 薬屋さん (C) 酒屋さん

(2) 鹿沼家… (A) 米屋さん (B) 魚屋さん (C) 花屋さん

こたえ

(1)	(2)
-----	-----

こみんか きゅうよしかわけ
古民家クイズ④ 旧吉川家

からうす なに どうぐ
これは「唐臼」といいます。何をする道具でしょう？

(A) 乗って遊ぶ (B) 足で踏んで精米や餅つきをする (C) 物を運ぶ
※精米…米のまわりについている糠（皮の部分）を取りのぞくこと。



こたえ

--

お置いてある場所や下にある石臼と
かんけい
関係がありそう…！



こみんか きゅうはぎわらけ
古民家クイズ⑤ 旧萩原家

でいりぐち へや なん ぼしよ
出入口のそばにある部屋は何のための場所でしょう？

(A) かまどに使う薪を置く (B) 牛を飼う (C) 道具をしまう



木の柵がつけられているね。
うへは物置に使われていたんだって！

こたえ

--

こみんか まち いえ むら いえ
古民家クイズ⑥ 町の家と村の家

みせや うすいけ かぬまけ のうか
お店屋さんだった臼井家・鹿沼家にくらべて、農家だった
よしかわけ はぎわらけ どま ひる
吉川家・萩原家は「土間」が広がっています。なぜでしょう？

※土間…地面と同じ高さで出入口からつづく、床板がはられていない場所。

(A) 牛を散歩させるため (B) かまどの火が部屋に燃え移るのを防ぐため
(C) 農作業（収穫した米や野菜の仕分け、わら編み、農具の手入れなど）のため

こたえ

--

むかし どうぐ
昔の道具
ものしりワーク

つぎ 次^{つぎ}の7つの道具^{どうぐ}が使^{つか}われる季節^{きせつ}を
「夏^{なつ}」と「冬^{ふゆ}」に分^わけてみましょう！

※詳しい解説^{かいぎょう}は民俗博物館^{みんぞくはくぶつかん}のホームページ^{ホームページ}内の
「どこでもみんぱく」でも見^みることができます！



かいてん
回転ごたつ



でんきせんふうき
電気扇風機



めし
飯かご



めし
飯ふご



か
蚊やり豚



ひぼち
火鉢



まめたん
豆炭あんか

こたえ

なつ
(夏)

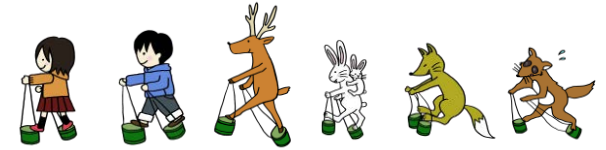
ふゆ
(冬)

はっけん
発見メモ

[古民家クイズの答え]
①B ②A ③(1)C/(2)A ④B ⑤B ⑥C
夏…電気扇風機・飯かご・蚊やり豚
冬…回転ごたつ・飯ふご・豆炭あんか・火鉢



ならけんりつやまとみんぞくこうえん こみんか
奈良県立大和民俗公園 古民家マップ



きゅうすいけじゅうたく
① 旧臼井家住宅



きゅうかぬまけじゅうたく
② 旧鹿沼家住宅



きゅうよしかわけじゅうたく
③ 旧吉川家住宅



きゅうはぎわらけじゅうたく
④ 旧萩原家住宅



きゅうやえかわけじゅうたく
⑤ 旧八重川家住宅



きゅういわもとけじゅうたく
⑥ 旧岩本家住宅



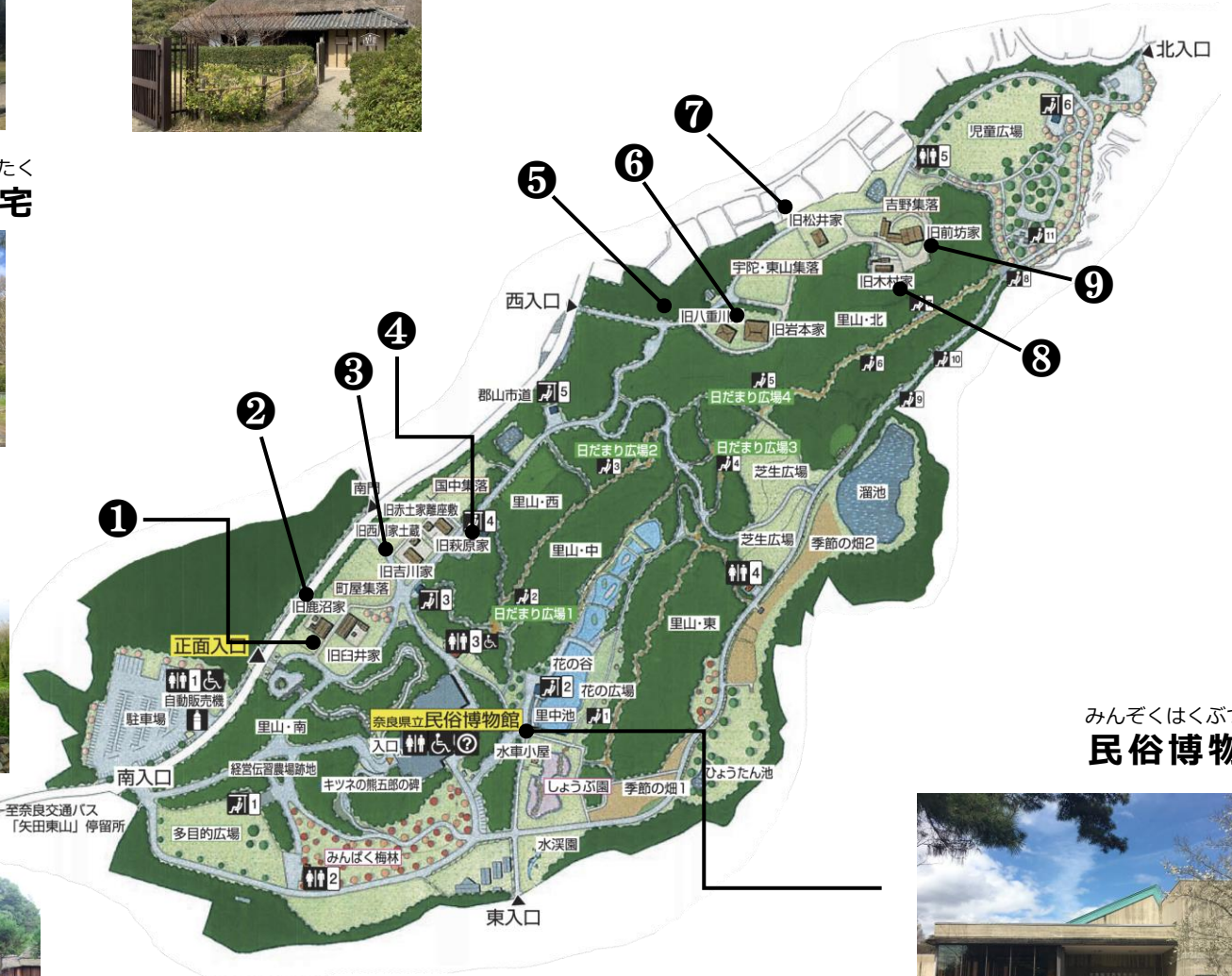
きゅうまついけじゅうたく
⑦ 旧松井家住宅



きゅうきむらけじゅうたく
⑧ 旧木村家住宅



きゅうまえぼうけじゅうたく
⑨ 旧前坊家住宅



みんぞくはくぶつかん
民俗博物館





やまとみんぞくこうえん こみんか 大和民俗公園の古民家

みどころガイド



えんない なら けんない かくち いちく けん とう え ど じ だ い みんか た
園内には、奈良県内の各地から移築された9軒15棟の江戸時代の民家が建っています。

ちい き き こ う じ だ い す く か た し ゃ く ぎ ゃ う い え か た ち や ね か べ つ か そ ざ い へ や か ず な ら か た ち が
地域の気候や時代、住む人の暮らし方・職業によって、家の形や屋根・壁などに使っている素材、部屋の数や並び方も違います。

こみんか みくら す い え ち が お どうぐ ちゅうもく
それぞれの古民家を見比べてみましょう。わたしたちが住んでいる家と、どんなところが違うでしょうか？置いてある道具にも注目！

まちやしゅうらく 町屋集落

①旧臼井家住宅 (高取町)

酒や醤油を製造・販売していました。入口にかけられた杉玉は新酒ができたことを知らせる看板の役割。中庭には井戸、廊下の先には手洗い、2階建ての蔵などもあります。

②旧鹿沼家住宅 (大和高田市)

代々米屋を営んでいた家。のれんよりも手前が店、奥が住居としての空間。瓦葺きの屋根にはかまどの煙を外へ出すための「煙出し」があり、その上に取り付けられている小さな屋根が特徴です。横から見るとよくわかります。

くんなかしゅうらく 国中集落

③旧吉川家住宅 (橿原市)

農家の特徴をよく表している民家で、かつては長屋門とその脇に納屋・米蔵・離座敷などの建物が母屋を囲むように建てられていました。流しの近くには、精米や餅つきなどに使われた「唐臼」があります。

④旧萩原家住宅 (桜井市)

「入母屋造り」という形の茅葺き屋根をした農家。雨や陽ざしを防ぐための庇には瓦も使われています。隅には、「厨子二階」と呼ばれる物置用の中二階がついた、牛馬を飼育するための馬屋があります。

うだ ひがしやましゅうらく 宇陀・東山集落

⑤旧八重川家住宅 (山辺郡都祁村 ※現・奈良市)

代々農業を営んでいた家。天井裏に「すのこ」を敷いて土が盛ってあるのは、火事が起こった時に天井が燃えるのを防ぐためです。また、かまどの上にあたる部分には煙を外へ出すための穴があけられていて、周りは土で固められて煙突のような形になっています。

⑥旧岩本家住宅 (宇陀郡室生村 ※現・宇陀市)

平地に比べて雪が多い地域の民家。大きな屋根が特徴。2階は絹糸を作るためにカイコを育てるのにも使用。かまどの周りには流しや唐臼、戸棚があります。かまどの上には煙をりょうりょう かな などを燻製にする時に使う「ベンケイ」(吉野地方では「ホデ」など)と呼ばれるワラづとが吊されています。

⑦旧松井家住宅 (宇陀郡室生村 ※現・宇陀市)

「ひろしき」と呼ばれる板敷きの場所は現在の台所にあたり、食事もここでとられていました。すのこを敷いた床は、夏の暑いときに風通しを良くする役割があります。

よしのしゅうらく 吉野集落

⑧旧木村家住宅 (吉野郡十津川村)

杉の木の皮で覆って石をのせた屋根はこの地域ならではの特徴のひとつ。強い雨風にも負けないように、屋根には雨よけの板も取り付けられています。母屋の向かいにある納屋は、中が牛小屋と手洗いに分かれています。調理は囲炉裏でおこなわれていました。

⑨旧前坊家住宅 (吉野町吉野山)

吉野山にある金峯山寺の門前町の家。お参りする人を泊める宿の役割もありました。渡廊下でつながったユニークな形をしています。山の斜面に沿って建てる「吉野建て」という方法です。